



Title	癌と人 第11号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 1984, 11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24126
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

◎ 題 字 ◎

財団法人大阪癌研究会理事長
川勝 傳（南海電気鉄道株式
会社取締役会長）



* 表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関する学会のシンボルマークに蟹の图案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

第11号 目 次

- ごあいさつ 1
川 勝 傳
- 胃ガンはどうして発生するか 3
田 口 鐵 男
- 単純ヘルペスウイルスと子宮癌 8
高 橋 理 明
- 子宮体ガン検診について 11
奥 平 吉 雄
- イボウイルスの話 13
羽 倉 明
- 大腸癌集検
——その過去・現在と未来—— 16
藤 田 昌 英
- X線造影剤（ヨード系造影剤）とその副作用について 21
中 村 仁 信
- 日本人のがん 23
中 野 陽 典
- 癌についての疑問に、
わかりやすくお答えします—その2 26
薄 金 真 雄
- 財団法人大阪癌研究会寄附行為 29
- 大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿 32
- 昭和58年度寄附者御芳名 35
- 集団検診（乳ガン、便潜血反応）の
お知らせ 35